

第1回目

☆金子 元美(かねこ あさみ)消防司令補
(東消防署高谷出張所)



○消防士を目指したきっかけ

高校までバスケットボール部の部活動に一生懸命取り組んできて、体を使う仕事につきたいとは考えていましたが、具体的にやりたい仕事が見つからなかった時、消防士であった兄の生き生きとした姿が印象的で、消防士を目指しました。

○市川市第1号の女性警防隊員として

私は市川市の女性警防隊員の第1号として、消防士を拝命しました。体力には自信がありましたが、男性職員と一緒に訓練などをすると体力や筋力の差を感じることがありました。しかし、先輩方とトレーニングすることで現場活動に必要な体力もつき、また現場活動における心構えを教養してもらったことで、活動に自信を持てるようになりました。先輩方のサポートで色々とコミュニケーションもとれるようになり、現場でも気落ちすることなく活動することができました。



○やりがい

やりがいは市民の方に感謝されることです。現在は救急救命士として救急業務に携わっています。救急搬送した傷病者の方が、元気になって消防署に来ていただいたり、救急活動中に感謝の気持ちをいただいた時に、嬉しい気持ちとやりがいを感じます。

○今後

1人でも多くの命を救うために、日々自己研鑽し、女性ならではの目線も活かしながら活動し、市民の方や上司から信頼される救急救命士を目指していきたいです。

○これから消防士を目指す人へ

人を助けるということは、非日常の災害現場で活動するため、強い「精神力」と「覚悟」が必要です。皆さんの「人を助きたい」という思いがあれば大丈夫です。きっとつらいことがあっても乗り越えられます。一緒に市川市で働きましょう。



第2回目

☆山田 千芳子(やまだ ちほこ)消防士
(東消防署)



○消防士を目指したきっかけ

中学生の時、あるテレビ番組を見て、迅速な活動をし、傷病者に優しく接している女性救急隊員に目を奪われました。人のために役立つ仕事に就きたいと進路を考えていた高校生の時、テレビで見た女性救急隊員の姿が思い浮かび消防士を目指すことに決め、大学で救急救命士の資格を取得しました。

○やりがい

私は救急救命士の資格を持っていますが、現在は警防隊として活動しています。救急隊と一緒に出動するPA連携などの活動で救急の知識を活かし救急隊をサポートできた時や、火災や救助活動など様々な災害現場で日々訓練してきたことが活かされたときにやりがいを感じます。

○消防操法大会に出場して

私は採用されて1年目に女性職員で初めて市川市消防職員操法大会に出場しました。先輩からの薦めと、サッカー部で鍛えた体力を活かし色々な事にチャレンジしたいとの思いから挑戦しました。訓練が始まると男性職員との体力の差を感じ、最後までやり遂げることができず不安になりました。先輩からのアドバイス、消防署のみんなのバックアップもあり必死でしたが最後までやり遂げることができました。大会では満足のいく結果を出すことができずに悔しい思いがありましたが、今振り返ると楽しかった訓練、大会でした。



○今後

現在警防隊員として活動していますが、今後は中学生の時にテレビで見たあの女性救急隊員のように市民に対して優しく、信頼される救急隊員になりたいと思っています。もし救急隊員として活動することができるようになったら、今までの警防隊としての経験を活かし広い視点で活動できるようになりたいです。

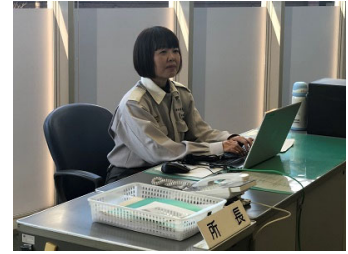
○これから消防士を目指す人へ

消防士は命に直接関わる仕事なので、常に緊張感やプレッシャーを感じることもあります。しかし、努力したことが人のためになるやりがいの大きい仕事です。市川市消防局と一緒に働きましょう。



第3回目

☆戒田 和世(かいだ かずよ)消防司令
(西消防署大洲出張所)



○消防吏員を目指したきっかけ

「人の役に立てる仕事に就きたい。」と、思いながら就職活動をしていたところ、たまたま知人から消防の仕事について話を聞く機会がありました。消防の仕事は、人を助ける仕事と改めて気付かされ、人の役に立ちたいと思い、消防吏員を目指しました。

○仕事と育児の両立について

正直、仕事と育児の両立は大変でした。子供は病気をしながら成長していきますから、両立するためには家族や職場の協力や理解が必要です。私は、幸い家族と職場の理解を得られ、育児休暇などの制度も利用することができたので、ここまで続けてくることができました。心から感謝しています。



○今までにキャリア

消防に入ってから20年は、火災を未然に防ぐための予防業務に従事していました。保育園や幼稚園をまわって、紙芝居や腹話術を使いながら火災予防の普及宣伝を行ったり、新築の建物やガソリンスタンドへの検査、既存の建物の予防査察など実施していました。その後は救急隊や救急課で救命講習などを行い救急業務に携わっています。



○救急隊員であり、管理職、出張所長としての今

出張所長といえども、一緒に仕事をしている職員に協力をしてもらわなければ、成り立ちません。職員みんなに協力をしてもらいながら務めさせていただいています。消防の仕事はチームワークが最も重要です。例え一人の力が優れていても自分勝手に仕事をしては、良い仕事に結びつきません。私が最も重要視していることは、「相手を活かし、自分も活かされる。」相互に輝きあえる職場環境を作ることです。お互いの長所を引き出しながら協力し、より良い仕事をするために一人ひとりが個々の力を磨き、お互いに協力をしながら仕事をするのが大切だと思っています。それが「市民の安心・安全を守る」ことに繋がると信じています。

○これから市川市の消防吏員を目指す人へ

消防の仕事は危険、きついというイメージが強く、消防吏員を目指したいと思っていても、体力や筋力に自信がなくその一步を踏み出せない人もいるかもしれません。でも、「人を助けたい」「誰かの役に立ちたい」という気持ちがあれば、不安がらずに是非、消防の門をたたいてください。あなたは決して、一人ではありません。消防の仕事は、チームで協力しながら行います。一人の力は小さいものかもしれませんが、その力が結束したら大きな力になります。是非、市民の安心・安全のためにワンチームで、良い仕事をしましょう。

※掲載時(2020年1月8日)の内容です。

第4回目

☆川内綾音(かわうちあやね)消防士



○なぜ、消防吏員を志したのですか？

私が通っていた短期大学に、市川市消防局の方々が消火訓練に来てくださり、その際の明るく元気ハツラツな姿に心惹かれました。自分で消防士について調べたり、市川市消防局の説明会を伺う中で消防士は人に勇気や自信、優しさを届ける職業なのだと感じました。『私もそのような存在になりたい。』と強く思い志しました。



○消防吏員として新たに一步踏み出しますが、今の気持ちは？

念願であった消防士になる事ができ、嬉しさと期待で一杯です。その反面、人の命に係わる職業なので多くの不安もあります。自分ができること一生懸命行い、鍛錬し、先輩の方々から多くのことを学んで精進したいです。

○これからの目標は？

消防のことについて、たくさん勉強し多くの方を守りたいです。市民の方々に優しさ、安心を届け、「女性がいてくれて良かった。」と信頼してもらえるような温かい消防士になることが目標です。

☆八木果奈子(やぎかなこ)消防士



○なぜ、消防吏員を志したのですか？

きっかけは、東日本大震災でした。テレビで津波の映像を見たとき、自分が今何もできないことに歯がゆさを覚えました。『救える命を救いたい。』そんな思いから消防吏員を目指しました。



○消防吏員として新たに一步踏み出しますが、今の気持ちは？

自分の将来に対する期待と不安です。男性社会と言われる消防の世界でも女性であることに誇りを持ち、多角的な視点から物事をとらえられるように勤務にあたりたいです。

○これからの目標は？

救急の現場で働きたいと思っています。これから多くの現場を経験し、たくさんの方を学んで、救急の現場で一人でも多くの命を救いたいと思っています。



※掲載時(2020年4月10日)の内容です。

第5回目

☆石川紀子(いしかわ のりこ)消防司令



○消防吏員を目指したきっかけ

人の命や暮らしを守るといった治安や安全に関わる公共性が高い仕事に関心があり、その中でも特に、命と真剣に向き合い、直接市民の役に立ち感謝される「消防」という職業であれば、大きなやりがいを見出せると思い目指しました。

○今までのキャリア

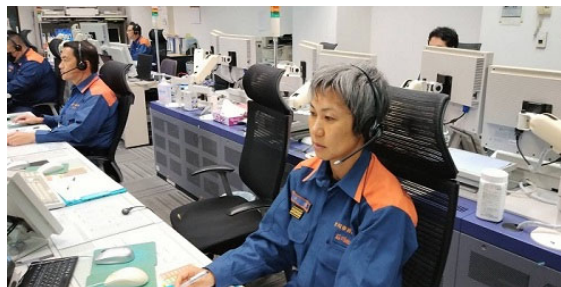
消防士として入局後、消防総務課での日勤から始まり、女性として当直勤務が初めて開始される時に、救急隊員として消防署に配属になりました。その後、救急救命士の資格を取得し23年間にわたり市民に寄り添って活動してきました。現在は指令センターの管制員として従事しています。

○現在の仕事について

現在は、近隣6市で構成される千葉北西部消防指令センターで勤務しています。

指令センターでは、119番通報を受けるだけでなく、管制業務全般の幅広い内容の仕事を行っています。

119番通報をする多くの市民は一生に一度あるかないかの、とても切迫した心理状態の中で助けを求めています。緊張や動揺、興奮状態の方でも、お互いに言葉だけのやり取りになるため、常に相手の立場や、心情を察して「親切・素早く・正確に」対応することを心がけています。



○これから消防吏員を目指す人へ

消防の仕事は、力仕事ばかりを求めているわけではありません。専門的スキルを必要とするものや法律に基づいた指導業務などその内容は多彩であり、女性の能力を活かせる業務も数多くあります。その中でも最も必要なのは、意欲と能力を生かしたチームプレーと「市民のために」という熱意です。

また結婚、出産というライフステージに応じた働き方も可能で、さらにキャリアの道も開けており、複数の女性が管理職として活躍しています。

女性も意欲と能力を十分に発揮し、やりがいを実感できる市川市消防局と一緒に市民の“守人”となりましょう。

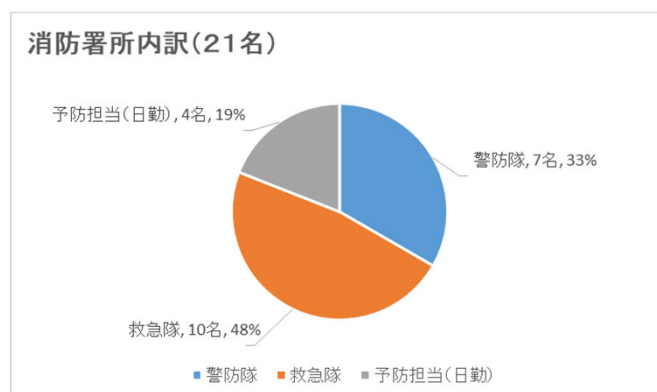
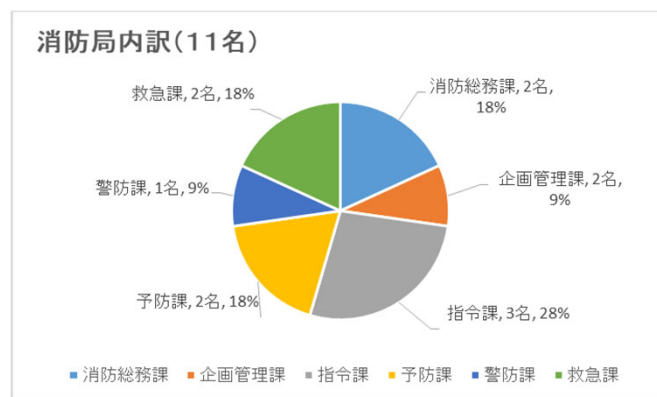
第6回目

☆女性消防職員の現況

市川市では昭和55年に初めて女性消防吏員を採用してから今年度で40周年を迎えることになりました。採用当初は、「火災予防は幼児から」を目的として火災予防広報中心の職務でしたが、平成6年の女子労働規準規則の一部改正により、女性消防職員に係る深夜業の規制が解除され、本市消防局では平成6年3月に4名の女性救急隊員が誕生しました。このうちの一人は、のち全国で女性として初めて救急救命士の資格を取得します。



このような諸先輩方の活躍もあり、令和2年10月1日現在で女性職員は32名（このほか1名の女性消防吏員が市長部局危機管理課で勤務しています。）で配属先は消防局に11名（消防総務課2名、企画管理課1名、指令課3名（うち共同指令センター1名）、予防課2名、警防課1名、救急課2名）、消防署所に21名（警防隊が7名、救急隊が10名、予防担当（日勤）4名）となっています。女性消防職員32名のうち6名が管理職として勤務しています。次回は勤務制度、職場環境等を紹介します。



※掲載時(2020年10月27日)の内容です。

第7回目

☆新入局のふたり

岡本真里菜(おかもとまりな) 消防士



○なぜ、消防吏員を志したのですか？

私の父が消防吏員ということもあり、幼い頃から「私も父のように人から感謝され、やりがいのある消防吏員になりたい。」と思いました。仕事というのは「やりがい」「自分に合った職業」この2つがとても大切だと思います。消防吏員の仕事は地域の方々が安全安心に暮らしていける街づくりに貢献し、命を救うということとてもやりがいを感じられる仕事だと思います。また身体を動かすことが好きだったこともあり消防吏員を志しました。

○消防吏員として新たな一步を踏み出しますが、今の気持ちは？

幼い頃からずっと目指していた職業だったのでとてもしみな反面、不安もありますが、持ち前の根性で男性に負けないよう訓練を重ね、現場で活躍できるように頑張ります。

○これからの目標は？

私は大学で救急医療について学んできました。将来は救急救命士として現場で活躍したいと考えています。

金子優菜(かねこゆうな) 消防士



○なぜ、消防吏員を志したのですか？

私が消防吏員を志したには災害や火災から人の命を救いたいと思ったからです。東日本大震災の悲惨さをテレビで目の当たりにし、当時中学1年生だった私は災害募金でしか力になれずにいました。そんな悔しい思いから将来は人々の命を救う最前線として働きたいと思ったことから消防吏員を目指しました。

○消防吏員として新たな一步を踏み出しますが、今の気持ちは？

ずっと夢であった職業に就けて嬉しく思います。ここからがスタートなので、消防について学び、そして一人でも多くの命や財産を守れるよう責任を持って訓練していきます。

○これからの目標は？

市民に寄り添い、信頼される女性消防士になることです。



※掲載時(2021年5月21日)の内容です。

第8回目

☆令和3年8月1日採用の新人

小池愛奈(こいけえな)消防士



○なぜ、消防吏員を志したのですか？

私が消防吏員を志した理由は2つあります。まず1つ目は救急救命士になり命の最前線で活動したいと考えたからです。私は中学生の時に身近な人の死を経験しました。そこで救急救命士の資格を知り、今度は私が誰かの大切な人を守りたいと考えました。そしてその資格を最大限発揮できるのは消防職しかないと思ったからです。2つ目は、新潟中越地震や東日本大震災で人命救助を行う消防士の姿に強い憧れを抱き、私も人命救助を行いたいと思ったからです。

○消防吏員として新たな一步を踏み出しますが、今の気持ちは？

憧れである消防士になることができ、大変嬉しく思っています。多くの知識や技術を学び、身につけ1日でも早く一人前の消防士になりたいです。そして困っている人や助けを求めている人のもとにいち早く駆け付け人命救助を行うこと、市川市の安全安心のために貢献していきたいと思っています。

○これからの目標は？

これからの目標は、現在所有している救急救命士の資格を活かし、救急隊員となり一人でも多くの命を助けることです。救急救命士として、観察や処置を行うだけでなく、傷病者の不安な気持ちに寄り添える救急救命士になれるよう全身全霊で頑張りたいです。



○おまけ

近代消防社「近代消防 9月号」で様々な業務で活躍する女性消防職員と題し、本市消防局の紹介が掲載されています。



※掲載時(2021年9月6日)の内容です。

第9回目

☆千葉県主催 令和3年度消防職員等不祥事防止対策・女性消防吏員活躍推進研修会講師

豆田副参事研修講師

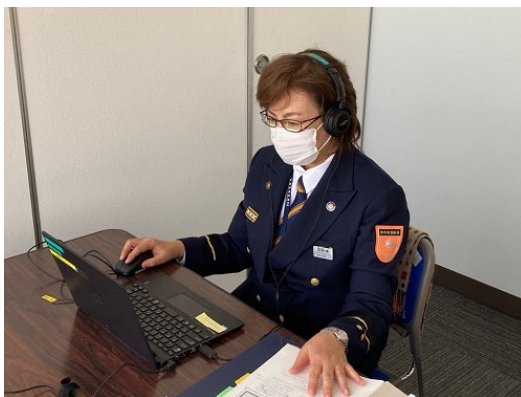
第9回目は、千葉県主催の研修会に本市女性消防吏員が講師として参加した報告です。

令和4年1月25日に千葉県が主催しました令和3年度消防職員等不祥事防止対策・女性消防吏員活躍推進研修会で消防総務課 豆田智佳子副参事が研修講師として参加しました。

豆田智佳子副参事は、昭和57年4月1日に本市消防局の消防士を拝命され、予防課、救急課の事務職だけでなく、救急隊員として現場で活躍され、また平成30年度には松戸市他5市で共同して119番通報を受け付ける千葉北西部消防指令センターで管制長を務められました。現在は消防総務課 副参事として職務を遂行しています。

令和3年度消防職員等不祥事防止対策・女性消防吏員活躍推進研修会では女性消防吏員活躍推進について本市の女性消防吏員の歩み、現状の課題とその解消に向けた取り組み等について県内消防本部の職員の方々に話を聞いていただきました。研修会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策としてオンラインで開催されたため、不慣れなところもありましたが、無事好評のうちに終わることができました。

豆田副参事、大変お疲れさまでした。



なお、この研修会の前に、本市消防局でも、豆田副参事が管理職を対象とした女性活躍推進に伴う研修会を実施し、更に女性消防吏員が働きやすい職場環境になるためには、風土が大事だと話しをしていただきました。

※掲載時(2022年2月1日)の内容です。

第10回目

☆令和4年4月1日、市川市消防局に女性1名を含む
10名の新しい仲間が加わりました！
今回は、佐藤消防士に意気込みを伺いました。

○なぜ、消防吏員を志したのですか。

2011年3月、東日本大震災が発生し、当時災害の現場をテレビで見てとても大きな衝撃を受けました。その際、オレンジ服を着た救助隊が人命救助を行っている姿に憧れを抱き、将来私も「誰かの役に立ち、多くの命を救いたい！」と思いました。そして、人命救助に携わることができるのは消防士の仕事ということを知り、消防吏員を志しました。



○消防吏員として新たな一步を踏み出しますが、今の気持ちは？
憧れであった職業に就くことができ大変うれしく思います。その反面、不安もありますが、これから消防士としての知識・技術を身につけ、先輩方からたくさんのことを学び、何事にも前向きな姿勢で取り組んでいきたいです。そして様々な現場で活躍し、市川市民の安全、安心を守っていきたいと考えております。

○これからの目標は？

どのような時も「初心の気持ち」を忘れず、日々の業務に努めてまいりたいと考えております。将来は、救助隊として現場で活躍し、多くの命を救いたいです。



※掲載時(2022年4月19日)の内容です。

第11回目

☆令和4年4月、西消防署長に着任した依知川友桂里
消防監を紹介します！



(水難救助隊員と共に)

平成6年に消防士を拝命、これまで、予防、救急、通信指令業務などを歴任してきました。今でこそ、新規採用の女性職員でも警防隊として配属されますが、私が入った当時はそのようなことはありませんでしたから、将来現場に行くなどという認識は持ち合わせておらず、また希望もしていませんでした。そのため、30代前半の頃千葉県消防学校の救急課程に入校を命ぜられたときはかなり悩みましたが、結果的には救急隊員歴が最も長くなり、血液や外傷に対する強烈な苦手意識をほぼ克服することができました。

今でも、知れば知るほど自分の無知を思い知らされるという繰り返しではありますが、課長職になった頃からでしょうか、それまで見えなかったものが見えてきたり、立場によって見える景色が違ってくことに気づきました。それからは、消防業務の尊さを肌感覚で理解できるようになったと感じています。

コロナ禍以来、先の見えない状況に閉塞感を覚えるなかで、ここに来て第7波に入り、現場の職員は寧日ない日々を余儀なくされていますが、私たちの仕事が市川市の安心安全に欠かせないことや、市民の消防に寄せる期待と信頼の大きさを噛みしめて、あくまでも誇り高くあってほしいものです。そして規律ある当直勤務のなかでも、和やかで、少しでも緊張のほぐれる時間を持てるよう、私自身、職場環境の充実に努めたいと考えています。



(署長室にて)

※掲載時(2022年7月20日)の内容です。

第12回目

☆「市川市消防局」は、令和5年2月11日(土曜)女子学生等を対象とした職業体験イベント(東京会場)へ出展いたします。(終了しました。)



撮影協力: 市川市消防本部(上)、東山製作所消防組合東山製作所消防本部(中)、源戸町消防本部(下)

参加費無料!
女子学生向け

実際の女性消防士
に会える!

女性消防士への一歩をここから

職業体験イベント開催決定!

FOMA
Fire and Disaster Management Agency

総務省消防庁

職業体験イベント

開催日 2023年2月11日(土)

開催場所 JA共済ビル(東京都千代田区平河町2-7-9)

実施内容 業務紹介、消防本部ブース出展、消防署見学など

対面開催
(東京会場)

参加予約は
こちらから!

WEB職業体験イベント

開催日 2023年2月18日(土)

開催方法 WEBオンライン

実施内容 業務紹介、座談会、動画放映など

オンライン
開催

参加予約は
こちらから!

中学生、高校生、各種専門学校生、大学生、社会人の女性、どなたでも参加できます。
ご友人と、ご家族と、同僚と。参加費は無料!是非ご参加ください!

- 1 実施日時
令和5年2月11日(土曜) 9時30分から16時00分まで(終了しました。)
※会場受付開始時刻は9時00分からになります。
- 2 実施場所
JA共済ビル カンファレンスホール
(東京都千代田区平河町2-7-9)
- 3 詳細は上記QRコードをご確認ください。

※掲載時(2023年2月14日)の内容です。

第13回目

☆「市川市消防局」は、令和5年2月11日(土)
女子学生等を対象とした職業体験イベント
(東京会場)へ出展しました。



市川市消防局ブースにご来場いただいた皆様、熱心に説明を聞いていただきありがとうございました。
皆さんと共に「市川で夢を叶える」ことができる日を楽しみにしています。

今後も、ホームページでは随時採用情報を更新していきます。
⇒[市川市消防吏員採用試験について\(総合案内\)](#)



第14回目

☆令和5年4月1日、市川市消防局に女性1名を含む
13名の新しい仲間が加わりました！
今回は、工藤消防士に意気込みを伺いました。

○なぜ、消防吏員を志したのですか？

私が消防吏員を志した理由は2つあります。まず、1つ目は、私の兄が消防士で、危険が伴いながらも任務を全うし、周りから感謝される兄の姿に憧れを抱いたからです。2つ目は、自身の生まれ育った地域を、より暮らしやすい街にして恩返しをしたいと思ったからです。



○学生時代にはどのようなことに取り組みましたか？

学生時代はチームワーク力、体力作り、素早い状況判断力を部活動を通じて身に付けられるように取り組みました。男性と女性で一番比較されるのは体力であると考えており、体力作りは特に力を入れて取り組みました。

○消防吏員として新たな一步を踏み出しますが、今の気持ちは？

夢であった消防士になることができ、大変うれしく思っています。自身の今までの経験を活かしつつ、消防士としての知識・技術をいち早く身に付け、一人でも多くの市川市民の笑顔を守っていきたいと考えています。

○これからの目標は？

市民から信頼され憧れられる女性消防士を目指しています。



(令和5年4月 採用職員13名とともに消防局庁舎にて、前列左から2番目が工藤消防士)

☆工藤消防士は、7月に福岡県で開催される世界水泳選手権2023福岡大会に、女子水球の日本代表選手として出場しました。皆様応援ありがとうございました。

※更新時(2023年8月21日)の内容です。

第15回目

☆女性活躍推進ラッピングバスの運行開始について紹介します。

市川市消防局では、まだまだ男性の職業であるというイメージが強い消防という仕事でも、女性が活躍できる職業であることを多くの方に知っていただくため、和洋女子大学の学生さんの協力を得てラッピングバスのデザインを制作しました。

令和5年10月1日から、京成バス株式会社市川営業所の管内を運行しています。



《デザイン制作》

和洋女子大学人文学部 日本文学文化学科 文化芸術専攻 4年生 水野 円香(みずの まどか)さん

水野さんにデザインのテーマを伺いました。

「デザインのテーマは“良い意味で、消防らしくない”です。消防吏員といえば、消防車の赤と男性の職業というのが印象強いのではと思い、女性へ向けての募集を意識し、あえて対抗位置に置かれることが多い白をメインにおいてデザインしました。白が目立つ女性らしい淡めのピンクに、誘目性のある黄色や統一感を出すために深めの赤を取り入れつつ、市川の花である薔薇をキーワードである「夢」とともに大きく咲かせました。このデザインを見て、女性消防吏員の存在を知り、目指す方が現れてくれればうれしいです。」



第16回目

☆令和6年度消防官採用試験の実施に向けた 採用広報用ポスターの制作について紹介します。

市川市消防局では、令和6年度消防官採用試験を実施することに伴い、地元、国府台女子学院高等部の協力を得て採用広報ポスターを制作しました。

令和6年度に実施する採用試験の広報に活用させていただきます。

ポスターデザイン 国府台女子学院高等部 2年生
美術・デザインコース 大竹 青凜映（おおたけ ありあ）さん



大竹 青凜映さん 平 佳史先生

※更新時(令和6年3月11日)の内容です

第17回目

令和6年4月に大型機関員の認定を受けた職員を紹介します。

令和6年4月1日、大型消防車両の運転を担う「大型機関員」に、2名の女性消防官が任命されました。市川市消防局では、女性職員も活躍の場をどんどん広げています。

今回はそのうちの一人、東消防署の八木消防士にお話を伺いました。



○大型機関員を志した理由と心構えについて教えてください。

「いつまでも、現場の最前線で活躍し続けたいと思ったからです。隊の中で、自分のできることを私なりに増やそうと思い、大型機関員を志しました。」

「また、女性職員を増やそうという動きの中で、女性の働ける場所を増やしていけたらとも思っています。」

○大型車両を運転することに不安はないですか？

「大型車に限らず、機関員は、現場で一人で活動する場面が多くなります。その分責任も増えるため、常に緊張感をもってハンドルを握るよう心がけています。」

○どんなところに仕事のやりがいを感じますか。

「活動で市民の役に立てた時や、自分の成長を感じられたときです。」

○今後の目標を教えてください。

「周りから、信頼してもらえる機関員になりたいです。そして、現場で動ける隊員であり続けたいです。」



※更新時(令和6年5月10日)の内容です